

## 令和6年度 県立高校グローバルリーダー育成プロジェクト

### 1 事業内容

趣 旨	「アジアの中の日本」を意識し、グローバル・ローカルの両視点から、英語での発信力・交渉力・論理的思考力を鍛え、未来のグローバル日本社会を創造するリーダーの育成を図る。
国内 プログラム	<p>第1回 7月13日(土) 開講式</p> <p>第2回 8月7日(水) 英語集中研修・伝統文化理解研修 (講師:教育局国際交流員 スティーブン スアレス、ヴァン エリカ)</p> <p>第3回 8月22日(木)(オンライン実施) 午前:①起業家講演会(武蔵野大学 伊藤 羊一氏) 午後:②シンガポール現地レポート (自治体国際化協会シンガポール事務所) ③校友会との交流会</p> <p>第4回 9月14日(土) 模擬国連ワークショップ① 講師:東京大学 中村 長史氏</p> <p>第5回 10月5日(土)(オンライン実施) 午前:グローバル人材育成講演会 講師:コンサルティングフェロー 竹内 舞子氏 午後:オンラインによる留学体験研修 講師:NPO法人 留学フェローシップ</p> <p>第6回 10月26日(土) 模擬国連ワークショップ② 講師:東京大学 中村 長史氏</p> <p>第7回 11月2日(土) 模擬国連ワークショップ③ 講師:東京大学 中村 長史氏</p> <p>第8回 11月30日(土) シンガポール大使館訪問</p> <p>第9回 12月14日(土) 保護者説明会及び壮行会</p>
参加者	<p>・1学年11名 2学年27名 3学年2名 ・男子16名 女子24名 合計40名 (県立高校24校)</p>

## 2 プログラム概要(国内研修)

第1回 7月13日(土) 14:00~16:00 【県民健康センター】

開講式

- 教育委員会挨拶(県立学校部長 青木 孝夫)
- 趣旨説明(高校教育指導課主幹兼主任指導主事 重竹 雅行)



第2回 8月7日(水) 9:30~16:30 【県民健康センター】

英語集中研修・日本の伝統文化理解研修

- 講師:教育局国際交流員(スティーブン・スアレス、ヴァン・エリカ)
- ワークショップ  
・自己紹介、日本の伝統文化についてグループディスカッション、プレゼンテーション



第3回 8月22日(木) 10:00~16:30 【オンライン実施】

① 起業家講演会 ②シンガポール現地レポート ③校友会交流会

- ① 講師:武蔵野大学 アントレプレナーシップ学部長 伊藤 羊一 教授  
演題「Be a global entrepreneur!」
- ② シンガポール現地レポート(自治体国際化協会シンガポール事務所)
- ③ 校友会(OBOG)との交流会



第4回 9月14日(土) 9:30~16:30 【東京大学】  
模擬国連ワークショップ①

- 講師:東京大学 中村 長史 特任講師
- テーマ「イラク危機」
- 議題概説、会議準備(担当国ごと=Policy Paper 作成)・会議
- キャンパスツアー、大学紹介



第5回 10月5日(土) 10:00~16:00 【オンライン実施】  
グローバル人材育成講演会及びオンラインによる留学体験研修

- 午前:グローバル人材育成講演会  
講師:経済産業研究所コンサルティングフェロー 竹内 舞子氏  
演題「一歩を踏み出す 自分を信じる  
—グローバルリーダーとしてはばたくために」
- 午後:オンラインによる留学体験研修  
講師 名合 史子氏 他3名 (留学フェローシップ)  
模擬授業① 模擬授業②(政治学・歴史学・医学・人類学より選択)



第6回 10月26日(土) 9:30~16:30【彩の国すこやかプラザ】

模擬国連ワークショップ②

○講師:東京大学 中村 長史 特任講師

○テーマ「イラク危機」

○会議、大学紹介



第7回 11月2日(土) 9:30~16:30 【県民健康センター】

模擬国連ワークショップ③

○講師:東京大学 中村 長史 特任講師

○テーマ「イラク危機」

○会議、振り返り(担当国の視点・一個人の視点)、大学紹介



第8回 11月30日(土) 10:30~12:00 【在京シンガポール大使館】

シンガポール大使館訪問

- ダレル・チュア参事官によるプレゼンテーションと質疑応答
- 写真撮影



第9回 12月14日(土) 保護者説明会、壮行会

10:00~11:30【県民健康センター】

- 直前説保護者説明会
- 壮行会 激励(県立学校部部長 青木 孝夫)
- 生徒による決意表明



### 3 プログラム概要(海外研修)

(以下の文章は参加生徒によるものです)

第1日 令和7年1月18日(土)		
地名	時間	主な日程
成田空港	7:15(JPN)	集合
	10:00(JPN)	出発
チャンギ空港	16:00(SG)	到着
ホテルロイヤル	18:00	到着
	18:15	夕食
ショッピングモール	19:30	買い物
ホテルロイヤル	21:00	帰宿

シンガポールに到着して飛行機から降りると、生温かい熱帯の空気を感じた。指紋認証等で少し手間取った人もいたが、全員が無事にシンガポールに入国できた。ホテルロイヤルに向かうバスでガイドのロイさんと出会った。ロイさんのシングリッシュが全然聞き取れず、この先のコミュニケーションについて不安を覚えた記憶が鮮明に残っている。夕食の後はショッピングモールに徒歩で行き、各々がお土産や水など買い物をした。多くの人にとって日本との違いを体感した一日となっただろう。



第2日 令和7年1月19日(日)		
地名	時間	主な日程
マリーナバイサンズ	10:00	展望台から曇景を望む
ガーデンバイザベイ	12:00	昼食(フードコートにて)
	12:00	植物園見学
チャンギ空港	14:15	プレゼンを聞く・空港を見学(サステナビリティについて)
マリーナバレージ	15:00	シンガポールの水事情を学ぶ
I'm Kim(焼肉)	17:00	焼肉食べ放題

マリーナバイサンズの展望台でスクールに見舞われたが、思い返せばこれが最初で最後のスクールだった。曇り空のため見晴らしはいまひとつだったが、大量の船舶には圧倒された。昼食のラ



クサは、麺がもやしのように少し食べづらかった。私にとっては初めて体験する味で、食文化の違いを体感した。植物園の展示のスケールや、圧倒的な高さの滝には驚いた。滝を山に見立てて、標高に応じた植生を再現しているらしかった。チャンギでのプレゼンでは、非常に多角的に持続可能性を模索していることに驚いた。また空港を見学していると、滝を中心にショッピングモールが広がっており、空港であることを忘れるほどの規模だった。ディナーの焼肉では、自分で肉を取りに行くスタイルが意外だった。網が小さく焼くのに時間がかかったが、素晴らしい晚餐だった。

第3日 令和7年1月20日(月)		
地名	時間	主な日程
SMU	10:00	SMU(Singapore Manegement University)に到着
	13:15	授業 昼食 授業
市内レストラン	17:30	夕食
ホテル	19:30	本日の振り返り

シンガポールで1日目、2日目と過ごしてきて日本とは違う環境に少しずつ慣れてきた、そうして迎えた3日目。私達は初めて授業を受けた。SMU(Singapore Manegement University)に着いて、2グループに分かれて持続可能性(Sustainability)についての授業が始まった。講義といっても、固い感じではなかった。まず講師の自己紹介から始まって(日本の音楽が好き、特に YOASOBI とかが好きらしい)、シンガポールについての紹介、動画も見たりして進めていく感じだったので、リラックスして授業を受けることができた。昼食は各自大学のフードコートで好きなものを食べる形式で、時間が余った人は売店にも寄っていた。休憩が終わり、その後の授業では自分達が生きている社会(コミュニティ)の中でどのようにサステナビリティを推進していくか、というテーマで班ごとにスピーチをした。講義が終わった後、全員で市内のレストランで中華料理を食べて、ホテルに帰った。その後、今日学んだことの振り返りとして、「日本とシンガポールの持続可能性のための試みの違い」「日本とシンガポールでどちらが環境問題に対して優れたアプローチをしているのか」について班で考えて発表した。3日目全体を通して考えると、ホテルに帰ってからの活動も含めて全ての活動が終わった時刻は 22:00 を回り、初めての講義ということもあって、3日目はかなり体力的にハードに思えた日だった。

第4日 令和7年1月21日(火)		
地名	時間	主な日程
シンガポール市内 (B&S プログラム) ホテル	9:00 ～ 17:00 18:00	班ごとに現地の大学生とシンガポール市内の フィールドワーク (チャイナタウン、リトルインディアなど)  夕食

4日目は各班に現地の大学生が1名ついてくださり、シンガポール市内のフィールドワークを行った。大学生の方が観光地やおすすめのスポットへ案内してくれたり、シンガポール特有の文化について話してくれたりした。私の班はシンガポールの象徴であるマライオン公園や沢山の屋台が並ぶチャイナタウンを巡った。この日は中国の旧正月である Chinese Festival(春節)に当



たる時期だったので街のいたるところにお祭りの装飾が見られ、街全体でお祝いしている、多民族国家のお互いの文化を尊重している姿が垣間見えたように感じられた。昼食の際、お店の方からのご厚意で大学生の方と班員全員分の焼き小籠包をサービスでいただいた。地元の方の優しさに触れられて、本当に幸せな気持ちに満たされた。他の班もそれぞれ観光地を訪れたり、大学生との仲を深めたりと充実した時間を過ごせたようで、多くの方と関わることができた貴重な1日だった。

第5日 令和7年1月22日(水)		
地名	時間	主な日程
マレーシア工科 大学(UTM) プライ村	07:15 09:30 ～12:30 13:00 16:00	ホテル発 陸路でジョホールバルに移動 UTM到着 講義&現地大学生との交流 各FW班で農村訪問体験(昼食&チョンカ)
シンガポール 市内レストラン 近隣スーパー	17:00 18:00 19:30	歓迎会(結婚式) シンガポールへ再入国 夕食 ショッピング

5日目はシンガポールから国境を越えてマレーシアへ移動した。UTMでは多文化社会とグローバリゼーションについて現地の大学生とディスカッションをし、各班でプレゼンテーションを行った。また、現地の大学生からお菓子などのお土産をたくさんいただいた。そ



の後は、バスでプライ村に移動した。各家庭に班で分かれて、まず昼食をいただいた。牛肉と野菜炒め、固めたご飯を食べたが、手で食べることは新鮮だった。食後は、マレーシアの伝統的な遊び「チョンカ」を楽しんだ。これは日本ではマンカラというらしい。楽しい時間はあっという間で、帰国したくないと言っている人までいた。ただ海外旅行に行くだけでは得られない、素晴らしい経験を得ることが出来た。

第6日 令和7年1月23日(木)		
地名	時間	主な日程
シンガポールマ ネジメント大学 (SMU)	9:00 ～ 17:00	2つのクラスに分かれて、シンガポールに共存する 異なる文化について学ぶ

シンガポールには主にマレー系、中華系、インド系の異なる民族が差別なく平和に暮らしている。その秘訣とはどういったものであるのか、現地の講師の講義で学んだ。講義の中にはクエスチョンが多くあり、手を挙げて英語で答える場面や班ごとに協力して5分ほどのプレゼンテーションを披露する機会が多くあった。普段の学校の授業とは異なる雰囲気新鮮さを感じつつ、とても楽しみながら英語(特にシグリッシュ)やシンガポールについて深く学ぶことができた。



第7日 令和7年1月24日(金)		
地名	時間	主な日程
ワンノース	9:00 ～12:00	シンガポールのスタートアップ企業について学ぶ Garuda Robotics(ドローン開発の企業)の方による 講演
市内フードコート NUS	12:20 13:10	昼食 アントレプレナーシップについて
市内レストラン MBS ビュースポ ット	～18:20 19:00 20:30	講義、ディスカッション、プレゼンテーションなど 夕食
ホテル	21:15	夜景鑑賞、記念撮影 振り返り、英語での3分間即興スピーチ

7日目は、ワンノースと呼ばれる赤道からわずか1°だけ北にある地区で、スタートアップ企業について学んだ。この地区には、シンガポールの若き実業家が多く、街の至る所にさまざまな工夫の凝らされた施設が点在していた。また、実際にスタートアップ企業を経営している方のお話で

は、専門的な内容であることに加え、とにかく早口で、ほとんど授業についていくことができず、市内フィールドワーク最終日にして海外の洗礼を受けた。午後はNUS(シンガポール国立大学)でアントレプレナーシップについて学んだ。Spotify や Netflix など自分がよく知っている企業の成り立ちを学び、最後は身近な問題についての独創的なアイデアを、班ごとに発表した。夕食後は、先生の粋な計らいで、グローバルリーダーのメンバーみんなでシンガポールの夜景を見に行った。ホテルに帰った後は、久しぶりの即興スピーチの時間があったが、みんな前回よりも自信を持って話しており、シンガポール研修を通しての成長が感じられた。1週間は自分が思っていたよりも短くてあっという間に終わってしまったが、密度の高い貴重な経験をする事ができたと感じている。



第8日 令和7年1月25日(土)		
地名	時間	主な日程
ホテルロイヤル	5:15(SG)	朝食
	6:00(SG)	出発
チャンギ空港	6:20(SG)	搭乗手続き
飛行機	9:00(SG)	搭乗
(SQ012)	9:30(SG)	離陸
	17:00(JP)	到着
羽田空港	19:00(JP)	解散

長い7日間の研修を終え、とうとう本日は帰宅日。ガイドのロイさんにも別れを告げ、搭乗手続きをして飛行機に乗り込んだ。飛行機内では疲れがたまっていたのか、睡眠をとっている人がたくさんいた。飛行機も無事に成田空港に到着し、写真をとったり思い出話をしたりして解散した。とても勉強になったのと同時に、仲間との絆を深めることもでき、とても充実した研修だった。



(帰国後)

2月10日(月) 14:00~16:00【県民健康センター】 報告会・閉講式
○開会、出席者紹介 ○参加生徒からの報告(各班発表) ○教育長、教育委員との懇談会 ○教育長挨拶 ○写真撮影



#### 4 生徒感想「すべての研修を終えて」（事後アンケートより一部抜粋）

- このプロジェクトに参加できて本当によかったです。私をグローバルリーダーに選んでいただき、貴重な体験をたくさんさせていただいてありがとうございました。初めて海外に行き、当たり前が崩れる瞬間がたくさんありました。本当に日本と違う世界が広がっているんだと感じました。今までは日本で働けばいいと思っていたけど、シンガポールから帰ってきてから海外で働きたくなりました。世界は広くて、自分の知らなかったことがたくさんあって、刺激をたくさん受けました。この研修を通して、夢ができ、勉強の目的が明確になりました。勉強頑張ります。このプロジェクトに参加したことを無駄にせず、自分のキャリアに生かします。自分の将来を自分の力で切り開いていく姿を見せたいと思います。この体験は新たな私へと踏み出せた第一歩となりました。
- 純粋に、全ての研修が本当に楽しかったです。初めは緊張もあったけれど、仲間たちが優しくいい人ばかりで、それぞれの学校での話や様々なジャンルで話ができ、世界が広がりました。実際に海外で研修をしてみて、大変だったことや自分の英語に自信が持てなくなることもありましたが、すべて乗り越えて自信を持つ、胸を張って強気でいることを学べたと思います。また、普段の高校という狭い範囲から世界という大きな場所へ飛び出して学べたことが、自分の人生の中で大きな良い経験となりました。
- シンガポール派遣に限らず、国内研修の講演会や模擬国連など、すべてが自分にとって刺激的だった。私はもともと人とのコミュニケーションが得意ではなく、自分に自信があるタイプでもなかったもので、県の選抜に合格した当時は、期待よりも自分がグローバルリーダーに選ばれたことへの疑問や不安のほうが大きかった。しかし、国内研修を通しての生徒同士の交流や様々な講師による貴重な講演、現地での異文化体験により自分の視野を大きく広げ、苦手だったコミュニケーションも楽しめるようになった。なにより、難しい研修を乗り越えられたという事実が私に自信をつけてくれたと思う。このような経験の場を設けてくださった埼玉県教育委員会の先生方や現地の方々、このプロジェクトへの参加を快く許してくれた両親への感謝を忘れずに、自分の住む地域から日本、日本から世界にまで還元していきたい。